

# 令和3年度 洛央小学校 学校経営方針

## めざす学校像

- \*心身共に安心安全で、自分らしく力を発揮していくことのできる学校
- \*一人ひとりの子どもが大切にされ、心の居場所がある学校

### ○やりがいのある学校

～教職員一人ひとりが大切にされる学校～

- ・それぞれの個性を大切に、互いの良さを認め合い、共に高まりあえる学校
- ・子どもたちの置かれている状況から出発し、子どもに届く確かな教育実践
- ・新しい発想・企画が大切にされる学校

### ○保護者・地域との連携を推進する学校

- ・家庭力、地域力を生かし、人と人との絆を大切にする学校
- ・保護者、地域の思いを謙虚な気持ちで受け止め、自らの取組を見直すことのできる学校

## めざす子ども像

### めざす子ども像

心やさしく すこやかに 大きな希望を胸に抱く子

「こんな人になりたい」という生き方も含めた大きな希望（“夢”や“願い”）を抱き、  
それに向かってチャレンジし続ける子を目指す。

#### 心やさしく

- ・自己肯定感や自尊感情を育み、互いに認め合う子
- ・思いやりをもって接する子
- ・心と力を合わせることに喜びを感じる子

#### すこやかに

- ・進んで運動し、元気で活力のある子
- ・偏食せず、丈夫な体をつくる子
- ・安全に対する意識を高く持ち続ける子
- ・未知の状況にも対応できる子

#### 大きな希望を胸に抱く子

- ・目標に向かって、ねばり強く、あきらめずに努力し続ける子
- ・学びを人生や社会に生かそうとする子
- ・気づき、考え、判断し、行動（表現）する子ども

⇒ 「主体性」と「社会性」を育成し、「自ら学ぶ力」「自ら律する力」を高める

○**広がり**・・・気づき，考え，判断し，行動する（思考力・判断力・表現力を身につける）。

○**深まり**・・・自分の考えと友だちの考えを比較し，共通点や類似点，相違点を考え，話し合い，深めること。  
さらに，話し合ったことをもとに自分の考えを見直し，再構築すること

\*言語活動を通して「主体的にコミュニケーションを図ろうとする子」を育成する

友達の気持ちを推測しながら聞いたり，伝え方を工夫したりすることで，「よりよくお互いの考えや気持ちを伝え合うことができる。」という経験を積み重ね，「このことを伝えたい！」「友達の考えが知りたい！」と主体的にコミュニケーションを図ろうとする子を育成する。

～子どもが主体的で深い学びとなる授業づくり～

児童が「話したい」「聞きたい」と思えるような言語活動の場を設定

多面的・多角的に物事をとらえることのできる授業展開→考え議論する場の設定

○**つながり**・・・他者と協働し，学び合う  
地域ぐるみの学校づくり

\*友達とのつながり                      存在感や成就感を味わえる学級集団づくり

一人ひとりを認め，個々の個性が活かされる中で，自分も人も大切にすると

学級・学習集団づくり

○自分を大切にする子ども

- ・自分の命を大切にできる子ども（安全面・生活面）
- ・自分の思いや考えをもち，伝えることができる子ども
- ・さまざまな活動に主体的に取り組むことができる子ども

○人を大切にする子ども

- ・最後まで話を聞くことができる子ども
- ・相手の思い・考えを認める言動ができる子ども
- ・相手の気持ちを考えて，自分はどうしたらいいのかを考えることができる子ども

\*学年・学年を超えたつながり    実生活とのつながり

学年間のつながりや学校全体のつながりを意識した取組（道徳つながり広場等）

道徳科と実生活とのつながり，すなわち道徳的実践のための取組

\*地域とのつながり・社会や将来とのつながり

学校・家庭・地域の連携

地域学習の推進→地域への愛情

生き方について学ぶ（キャリア教育等）→学びと将来とのつながり